

特集 アフリカタテガミヤマアラシ

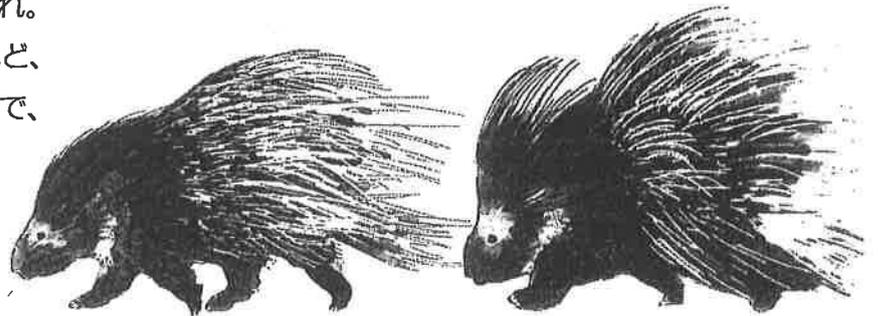
5月27日に、2頭のアフリカタテガミヤマアラシが平原ゾーンで公開されました。両方ともメスで、名前はミクニとホルン。独特の鋭いトゲで武装しているものの、性格はおだやか。かわいがってくださいね。

はじめまして。どうぞよろしく

ミクニとホルンは父親が同じ異母姉妹で、東武動物公園から来ました。名前の由来は山の名前だそうで、ミクニは三国山、ホルンはマッターホルン。マッターという名前の兄弟もいるそうです。

ミクニは、2014年5月30日生まれ。好奇心旺盛^{おどろい}の物怖じしない性格で、体重は14.7kg(3月30日計測)。ホルンは、2015年5月14日生まれ。人見知りで引っ込み思案なところがあるけれど、慣れれば活動的になります。体重は15.2kgで、2頭の体重は少ししか違いませんが一見するとホルンのほうがだいぶ大きく見えます。ミクニは着やせするタイプ?

どちらも人になついていて、飼育係さんを威嚇^{いかく}したり攻撃したりすることはないそうです。



ミクニ

ホルン

ミクニとホルンの1日

開園前の朝9時に飼育係さんがバックヤードの個室から屋外展示場へ、おやつのエサを少しずつ与えながら誘導します。

日中は2頭が寄り添って、出入り口付近で寝ていることが多いです。朝の開園直後と夕方は比較的動いている様子が見られるでしょう。展示場の池に入ることもあります。

ふだんは声を張り上げて鳴くということはありません。フガフガと鼻息の荒いような音を出します。

トゲは怒ったり、威嚇^{いかく}したりするときに大きく広がり、まるでクジャクの羽根のよう。トゲがぶつかり合いシャラシャラと音をだすこともあります。

こんなものを食べています

エサは1日1回、夕方に与えます。

リンゴ、トマト、バナナ(少量)などの果物と、サツマイモ、トウモロコシ、ニンジン等生のままのかための野菜や木の枝葉です。ネズミの仲間なので歯が伸び続けるため、かたいものを食べさせていて、トウモロコシは芯^{こめ}まで食べます。

大好きなのはサツマイモで、輪切りにしたものを与えると前足ではさんで持ち、回しながらまわりの皮をぐるりとかじってむいて、中身を食べます。結局最後には皮も食べます。おいしいものは最後にとっておくのでしょうか。なぜです。

もっと知りたい！ ヤマアラシ

《ヤマアラシとは》

ほにゅう類げっ歯目（ネズミ目）の動物で、アフリカ・アジアにすむ「ヤマアラシ科」と南北アメリカにすむ「アメリカヤマアラシ科」があります。「ヤマアラシ科」は地上で暮らし、「アメリカヤマアラシ科」は樹上で暮らす動物で、この2つは全く別の種です。

千葉市動物公園のアフリカタテガミヤマアラシはヤマアラシ科で、仲間にはインドタテガミヤマアラシ、ケープタテガミヤマアラシ等があります。今のところ絶滅の心配はないものの、森林が切り開かれるなどしてすみかを奪われ、生息数は減ってきているとも言われています。



《自然界の

アフリカタテガミヤマアラシの暮らし》

アフリカ中部～北部や南ヨーロッパのごく一部の森林・サバンナや乾燥した岩地などにおいて、3,500m位までの高地にも姿を見せます。小さな群れで生活し、岩穴や、前足の爪で地面に掘った穴（十数メートルの例も）の中を巣にしています。夜行性で昼間は巣穴で休み、夕方から夜にかけて単独で出かけて嗅覚で食べ物を探し、ときには15kmも歩くことがあります。おもに果実・樹皮・球根・穀物などを食べ、まれに昆虫を捕ったり動物の骨や乾いた死肉を食べたりもします。

寿命は野生では12～15年、飼育下では20年位。一夫一婦で年1回2～3頭を出産、子育てはオスも手伝います。生まれたばかりの子どもには柔らかく短い白と黒の産毛が生えており、トゲは10日位で硬くなります。約2ヶ月は母乳で育ち、1～2年で親と同じくらいの大きさになります。

《背中トゲはダテじゃない。

ライオンもひるむ攻撃力》

警戒心が強く気性の激しいヤマアラシは、ライオン・ヒョウなどの敵に出会うと、独特の針毛（トゲ）を逆立て、後ろ足を踏みならしてトゲとトゲをぶつけ合わせ、シャラシャラ・バサバサと大きな音を立て威嚇します。それでも退散しないと、尾の太いトゲを相手に向けて後ろ向きに突進。刺したトゲは根元から抜けて相手の体に残り、刺さると抜けにくい構造になっているため、ライオンやヒョウにトゲが刺さっている姿は多く目撃されています。

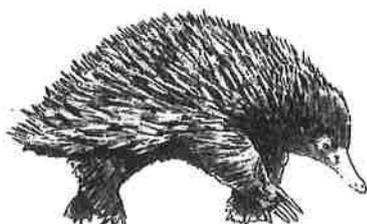
かたく先端の鋭い白と黒色のトゲは、人間の髪や爪と同じケラチンという成分が変化した筒状の軽いものです。長さ10～40cm位で、その強さはダンボールやアルミ缶をも突き刺すほど。オスは求愛行動にも音をだします。トゲは抜けると生え替わり、1頭で約3万本生えています。普通の体毛しかない顔と頭、毛が生えていない腹が特に弱点で、敵にここを攻められると負けます。

《ネズミのなかまの伸びる前歯》

アフリカタテガミヤマアラシは体重15～27kg、体長60～90cm、尾長8～15cm。噛む力が強く、歯は上下2本ずつ門歯（前歯）があり、げっ歯目の特徴として門歯が一生伸び続けるため、かたいものをかじってすり減らさなくてはなりません。

指は前足4本、後ろ足5本。エサを食べるときは前足でつかんだり押さえたりして口に運びます。歩くはやさは時速20kmくらい。後ろ向きでも機敏に動くことができます。

まちがえないでね！ ぜんぜんちがうよ！



ハリモグラ



ハリネズミ